

科 目 名	スポーツA	普通科選択 3年・2単位
目 標	(1) 3年選択体育の種目をさらに深く学び、技能や知識を高める。 (2) 自己の状況(体力・得意不得意)に応じた運動の領域・単元・種目を選択して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質・能力を身につけさせる。 (3) 合理的・計画的な授業の実践を生徒自らが行えるようにさせる。 (4) 健康・安全面の配慮・確保を自他共に実践できる資質を養わせる。 (5) 運動・スポーツに対する意欲・関心を高めるとともに公正・協力・責任・参画の態度を養わせる。	
位 置 づ け	各種運動の合理的・計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。また、自己の状況に応じて体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育てる。	

■使用する教材 現代高等学校保健体育（大修館書店） アクティブスポーツ総合版（大修館書店）	■学習する単元とおおよその時期 ・体づくり運動、体力テスト 【4月】 ・選択A（テニス、バドミントン、ソフトボール、サッカー） 【5～6月】 ・選択B（選択Aと異なる種目）【7～8月】 ・選択C（バレーボール、卓球、バスケットボール） 【9～10月】 ・選択D（選択Cと異なる種目）【11～12月】
■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法 ① 3年選択体育の種目から1種目を選択し実施する。種目変更の時期は学びの深まりの度合いに応じて適宜設定する。 ② 選択した種目ごとに班（グループ）ができ、その班ごと（グループごと）に全体の授業計画や毎時間の授業計画を立てます。	

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	① 競技のルール・マナー等を理解し遵守することができ、ゲームや発表会などの運営に携わることができる。 ② 練習内容や練習方法を研究し実践できる。	① 単元計画・授業計画に自分の考えを反映させることができる。 ② やるべき事や徹底事項を自ら守り、班全体の活動の活性化に寄与することができる。 ③ 安全に留意した上での活動ができる。	① 全体を通して積極的に参加し、自己の言動が班員に良い影響を与えることができる。 ②活動・運動に適したW－U PやC－DOWNを実践することができる。
	上記①・②について概ねできる。	上記①・②・③について概ねできる。	上記①・②について概ねできる。
	上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	これらの観点を、生徒の個人ノートの内容と自己評価並びに巡回教諭が毎時間評価したものを、総合的に判断する。	これらの観点を、生徒の個人ノートの内容と自己評価並びに巡回教諭が毎時間評価したものを、総合的に判断する。	これらの観点を、生徒の個人ノートの内容と自己評価並びに巡回教諭が毎時間評価したものを、総合的に判断する。